

2015 年 3 月 13 日

ご担当者各位



自航式多目的船の建造に着手しました

東洋建設株式会社（代表取締役社長 武澤 恭司）は、我が国の海洋を取り巻く社会環境（海洋エネルギー・資源・海洋環境保全等）に対応するため、自航式多目的船の建造に着手しました。

新造する自航式多目的船は、排他的経済水域や遠隔離島での就役を目的に3ヶ月程度の無寄港作業に耐え得る航海能力に加え、強い潮流域かつ強風時での定点保持が可能な最新鋭の定点保持機能（DPS:Dynamic Positioning System）を有することを特徴としています。また、広い積載スペース（925m²）や定員50人を超える居住区等により、建設作業のみならず海洋域で多目的に利用することが可能です。一方、昇降格納式のバウスラスターや着脱式のスパッドを搭載していますので、比較的水深の浅い国内の港湾工事にも就役が容易であり、活躍するフィールドは多岐にわたると期待しています。

さらに、各種通信設備や海水淡水化装置、大容量燃料タンクなどを装備することにより、巨大地震などの大規模災害時における災害支援基地としての機能や物資運搬業務等を担うことも想定しています。

当社として2001（平成13）年以来の大型作業船建造となるこの自航式多目的船は、2016（平成28）年9月の就航を予定しています。今後、港湾整備をはじめとする様々な海洋作業で活用することにより、引き続き我が国の発展に寄与してまいりたいと考えております。

【主な用途】

- ・近海／沿海／平水域における海上作業全般
- ・起重機作業
- ・浚渫作業（砕岩・硬岩仕様含む）
- ・杭打作業（フライングハンマー使用）
- ・機械式捨石均し作業
- ・資機材運搬
- ・定点保持を必要とする作業（魚礁・海洋再生エネルギー発電施設等の設置）
- ・海底ケーブル敷設作業
- ・洋上風力発電装置設置の補助作業
- ・その他（海洋調査・探査業務、災害支援活動 他）





作業イメージ（洋上風力設置）



作業イメージ（深海域での魚礁設置）

主要諸元

全長×全幅×深さ	90m×27m×5m	最大吊能力	500トン(最大ジブ長:57.4m)
最大積載荷重	3,500トン(常用時 2,800トン)	最大搭載人員	52名(船員12名含む)
軽荷吃水	2.5m(満載吃水:4.0m)	定点保持能力	潮流2ノット及び風速15mに対応 (全方向に対応)
推進装置	全旋回式 1,471kW×2基 (360°回転・2,000PS×2基)	総トン数	5,000トン未満
バウスラスタ	昇降式全旋回式 506kW×2基 (360°回転・800PS×2基)	航海速度	約12ノット
補助スラスタ	トンネル式 330kW×1基	航行区域	近海区域(非国際) NK2013版 船級:NK
燃料タンク容量	1,000kl	海水淡水化装置	飲料水製造能力4m ³ /日 清水製造能力16m ³ /日

問合せ先 東洋建設株式会社
 経営管理本部経営企画部広報課 北村 健
 電話 03-6361-5461